

事業報告

<研修名>

平成30年度 大分県公民館新任職員研修会

<開催日時>

平成30年7月6日（金） 10:00～15:30（※大雨のため14:30まで）

<会場>

県立図書館 第2・3研修室

<参加人数>

58名

<研修趣旨>

公民館の運営に必要な基礎的かつ実践的な知識・技術に関する研修を行い、公民館関係職員としての資質の向上並びに相互の連携を図る。

<研修内容>

【講義】「大分県内公民館の現状と課題」

≪テーマ1≫「大分県の社会教育行政職員の生涯学習・社会教育に関する意識調査」に見る公民館の現状と課題

≪テーマ2≫公民館の基礎・基本 ～地域活動の拠点としての公民館をめざすために～

講師：県立図書館 学校・地域支援課 地域学習支援担当 主任社会教育主事 馬場 尚登

- ・昨年度の調査研究から公民館職員に関する現状と課題
- ・人づくり、地域づくり、自治支援で住民支援を行う公民館の役割
- ・喫緊の課題としての公民館の防災対策などについての講義でした。

【事例発表1】「住民に求められる公民館活動とは」

発表者：臼杵市野津中央公民館 主幹 長田 大輔 氏

野津川登地区の紙すきの技術を公民館活動として復活させ、その後地域の小学校の学習として定着した事例の紹介がありました。

【事例発表2】「佐伯市公民館図書室活性化事業の取組～本の力で地域をつなぐ～」

発表者：佐伯市公民館図書室活性化協議会

事務局長 山本 政子 氏 / 副会長 川野 敦子 氏

佐伯市社会教育課 主任 後藤 奈保子 氏

公民館図書室の環境づくりと子どもに読書の楽しさを伝えるペープサート等の活動について紹介がありました。

【情報提供】演習「活動のタネ～防災ゲーム、助成金情報ほか～」

進行：県立図書館 学校・地域支援課 地域学習支援担当 主任社会教育主事 吉田 知子

<※大雨のため中止>

<当日の様子(写真)>

【開会行事】



【講義】「大分県内公民館の現状と課題」



【事例発表】

臼杵市野津中央公民館 主幹 長田 大輔 氏



【事例発表】 佐伯市公民館図書室活性化協議会
事務局長 山本 政子 氏 / 副会長 川野 敦子 氏
佐伯市社会教育課 主任 後藤 奈保子 氏



<参加者感想>

- 午前中の講義は自館の運営の基本理念を構築するのにとても勉強になりました。
- 午前のテーマ2「基礎・基本」は改めて再意識・再認識化できたので、明日からの館長業務に十分に活かします。
- 4月から公民館担当になりわからないことばかり。今日の研修でまず何をすべきか理解することができました。住民に公民館を知ってもらうこと、住民のみみなさんに活用してもらえるような場所になるよう努力します。ヒントをたくさんいただきました。
- 今後の公民館のあり方やなすべきことの指針をもらえたと思う。
- 佐伯市公民館図書室の発表が普段の地道な活動に基づいた素晴らしい発表でした。
- 災害はいつ発生するかわからないので、事前の準備が大切ということを改めて感じた。事例発表はすごく勉強になった。